

あの暑い夏はどこへやら。めっきり涼しくなりました。うちにあるクヌギの木からはまんまるのドングリがどすどすと落ちてきます。となりのトトロの世界と同じように、落ちたてのドングリは本当に光っています。なので草の中に落ちていてもすぐわかるのでどうしても拾わずにはられません。残念なのは、日にちが経つとどうしても色あせてしまうことです。色づいた落ち葉もそうですが、いつまでもそのままでいてほしいものです。

タイゾー先生の見破り方 オフレコですがタイゾー先生は、口調はもちろん靴下に至るまで専用のもを使用しています。要は別人です。しかしながら前回登場した際に、皆がタイゾーを取り巻く中、一人の女の子が彼の手の甲に鼻を押し付けククンとおいを嗅ぎ、「はやと先生のニオイがするー。」と言いました・・・ギャフンというかどんだけ～というか・・・その時ははぐらかしましたが、参ったというより、もし私がものすごく若かったら結婚したいと思ってしまうかもしれないエピソードでした。

よく見たいと思うものがあると突然どこでも這いつくばってみたり、汚れていたものがキレイになっているとそれにほおずりしてみたり。そんな子どもたちの突発的でわかりやすい行動や表現が大好きです。いつまでもそのままでいてほしいものです。

もうすぐ運動会です。競技もちろんあるのですが、行進やダンス、応援など含めると運動会は子どもたちの表現活動の場ともいえます。笑う、怒ると同じように、身体を使って自己発揮・自己表現していると考ええると、速い遅いといったことだけではない我が子の姿、子どもたちの姿がそこにあると思います。その中には逆に心配や不安といったわかりづらい表現もあるのですが、それもすべてひっくるめて表現してくれることがうれしいですし、運動会からこどもかい、ごっこや制作活動、気持ちの部分に至るまで、子どもたちなりの表現をたくさん身につけて、存分に発揮してほしいと思っています。ドングリもやがて芽を出します。ガンバシ、けやきのどんぐりたち！

毎年お伝えしておりますが、手拍子と拍手は子どもたちのエネルギーの源になります。今年も応援よろしく願いいたします。三脚以外でカメラ、ビデオを撮りながら拍手が送れる装置を誰か開発してください。

今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- ・ 簡単な集団遊びに興味をもち、ルールなども理解してくる
- ・ 運動会が終わった後も、友達とかけっこやダンスをしたり、年中・年長児の競技をまねたりしながら、新たな遊びに挑戦してみようとする

4歳

- ・ 散歩などをしながら、秋の自然に興味、関心をもち、触れて遊ぶ
- ・ クラスのみんなと一緒にする遊びや活動に、喜んで取り組もうとする
- ・ 仲間のよさを認め合い、評価し合える雰囲気ができる
- ・ 自分なりの思いやイメージをいろいろな方法で表現したり、相手に伝えようとする

5歳

- ・ 運動会を体験したことにより、クラスや学年など集団のまとまりが強くなっていく
- ・ 友達と考えを出し合いながら、互いのアイデア、イメージを共有できる
- ・ 様々な材料に触れ、素材の特徴を感じながら、製作あそびを楽しむ